

NCNPプレスリリース (https://www.ncnp.go.jp/topics/)

- デュシェンヌ型筋ジストロフィー治療薬(NS-051/NCNP-04)の米国におけるオーファンドラッグ指定のお知らせ
NCNP 神経研究所 遺伝子疾患治療研究部 部長 青木 吉嗣 (9/19 リリース)
- 「見えるエネルギー」で生体機能と病気の予兆を捉える — 新開発の AVID マウスが切り拓く未来の医療
～医療・健康・食品・スポーツなどあらゆる分野で応用期待～
NCNP・国立循環器病研究センター・九州大学(共同) 精神保健研究所 精神薬理研究部 分子精神薬理研究室 室長 三輪 秀樹 (9/29 リリース)
- 思春期女子のメンタルヘルス悪化と拡大する性差
NCNP・東京都医学総合研究所・東京大学(共同) 精神保健研究所 行動医学研究部 精神機能研究室 室長 成田 瑞 (9/30 リリース)
- 脳は体の声を聞いて“おいしい”を決めていた — ドーパミン系による柔軟な価値計算 —
NCNP・大阪大学(共同) 神経研究所 疾病研究第七部 第二研究室 室長 山下 祐一 (10/10 リリース)
- AIが“食の好み”を見抜く:個人の嗜好パターンを高精度予測 摂食障害の客観的評価や個別化栄養指導への応用に期待
NCNP・一橋大学(共同) 神経研究所 疾病研究第七部 第二研究室 室長 山下 祐一、研究員 小島 大樹 (11/4 リリース)
- ヒトは“変化した身体”にいかに対応して運動を制御するかを解明 — サルの腱移行モデルにより、2段階の適応パターンを提示 —
NCNP・電気通信大学(共同) 神経研究所 モデル動物開発研究部 部長 関 和彦、研究員 Roland Philipp
NCNP 病院 総合外科部 整形外科 医長 原 友紀 (11/12 リリース)
- 岩坪威 神経研究所長が CTAD [Lifetime Achievement Award] を受賞
NCNP 神経研究所 所長 岩坪 威 (11/27 リリース)
- 哺乳類の気管上皮細胞と嗅神経細胞が持つ繊毛の方向性と膜の独立性を保つ仕組みを解明
NCNP・理化学研究所・東京都健康長寿医療センター・名古屋大学・東京農工大学・静岡県立大学
神経研究所 遺伝子疾患治療研究部 部長 青木 吉嗣 (12/4 リリース)
- てんかん発作悪化の治療ターゲットの発見 ～アストロサイトの分泌因子 [Igfbp2]～
NCNP 等(共同) 神経研究所 疾病研究第二部 部長 小山 隆太 (12/10 リリース)
- ChatGPT 登場後、医学論文で特定の語彙使用が急増
NCNP NCNP 病院 臨床検査部 睡眠障害検査室 医長 松井 健太郎 (12/12 リリース)
- 健診で糖尿病を指摘された後の「早期受診」で10年間の心血管疾患リスクが27%低下 ～大規模レセプトデータを用いた標的試験エミュレーション～
NCNP・東京大学・横浜市立大学(共同) 精神保健研究所 行動医学研究部 精神機能研究室 室長 成田 瑞 (12/15 リリース)
- 悪いことばかりを思い出してしまう脳の癖を和らげる 新しい記憶介入プログラムがストレスを軽減させることを世界で初めて実証
— ストレスに関連した精神障害の予防・治療に役立つ可能性 —
NCNP・富山大学・北里大学(共同) 精神保健研究所 行動医学研究部 部長 堀 弘明 (12/24 リリース)
- 思春期に孤独感が持続すると精神症・抑うつ・不安・幸福度低下につながることを確認 — 孤独感が改善すれば影響が軽減される可能性 —
NCNP・東京都医学総合研究所・東京大学(共同) 精神保健研究所 行動医学研究部 精神機能研究室 室長 成田 瑞 (1/22 リリース)

NCNP 診療ニュース

T O P I C S

医療連携懇談会を終えて

2026.2
Vol.47

イベント紹介

パープルデー
2026

各部門紹介①

身体リハビリ
テーション部

各部門紹介②

精神リハビリ
テーション部

診療科紹介

整形外科



Nature

NCNP四季便り

トランスレーショナル・メディカルセンター
永井 秀明

フキノトウ(落の薑)

センターにはあちこちに落が自生しています。
まだまだ北風が冷たい二月のはじめ、落ち葉をかきわけて頭を出すフキノトウ。
フキノトウは花のつぼみです。
二月下旬、日差しが温かく感じられるころになると花が開きます。
つぼみも花も人気の野草です。
天ぷら、ふき味噌、酢味噌あえ。
ほろ苦い春の香り。
熱燗が恋しくなります。



フキノトウ(上)
フキノトウ花(左)

医療連携懇談会を終えて



2025年は51施設107名と多くの近隣医療機関等の皆様にご出席頂き「医療連携懇談会」を無事開催することができました。ご出席頂いた皆様、また日頃より当院へご支援を頂いた皆様方に心より感謝申し上げます。

今回の医療連携懇談会は2部制で開催しました。前半は今年度4月に着任した戸田病院長の挨拶に始まり、各診療部と外来の紹介に続き、脳神経内科高橋診療部長より脳神経内科について具体的な診療内容の発表を行いました。当院は脳神経疾患を始め、筋疾患などの難病に対して高度専門医療を提供していることが特徴です。専門医の視点での確な検査・診断・治療をすることが重要な役割であると考えております。専門的な治療が必要な患者さんのほか、診断が難しい等お困りの症例も当院にぜひご紹介ください。

後半は懇親会としてご参加いただいた皆様との貴重な意見交換の場を設け、様々なご意見をいただきました。“電話がつながりにくい”、“予約方法(予約枠)が複雑”、“国立病院は敷居が高い”と率直なご指摘を頂き、大変に勉強になりました。つながりやすく、わかりやすく、頼みやすい医療連携を目指し、簡潔で円滑な対応と断らない診療を実現しなければと、気持ちを新たにしました次第です。

2026年も地域医療に貢献し、皆様に必要とされる医療機関になれるよう邁進して参ります。引き続き皆様のご指導を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

国立精神・神経医療研究センター病院
医療連携福祉相談部(患者サポートセンター) 一同

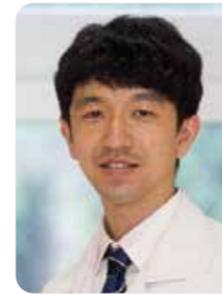


戸田病院長



高橋脳神経内科診療部長

NCNPパープルデー 2026



みなさんこんにちは。
2026年のNCNPパープルデー実行委員長の脳神経外科の飯島です。

毎年3月26日のパープルデー(Purple Day)は、世界中で行われている

んかんの啓発キャンペーンです。てんかんをもつ人たちが「自分は一人ではない」と感じられるように、そして社会全体がてんかんについて正しく理解することを目的としています。

パープルデーは2008年にカナダの当時9歳の少女、キャシディ・ミーガン(Cassidy Megan)さんによって始められました。彼女自身がてんかんをもっており、病気に対する偏見や孤独感に悩んでいたことから、「世界中の人にてんかんを正しく知ってほしい」という願いを込めて発案されました。紫は彼女の好きなラベンダーの花の色に由来しています。ラベンダーは「孤独」を象徴する色とも言われますが、世界中で多くの方がこの色を身につけることで、「あなたは一人ではない」

という連帯のメッセージを伝えています。毎年3月26日を中心に、世界各国でさまざまな取り組みが行われています。

NCNP病院では2026年のパープルデーのイベントを3月13日(金曜日)に予定しています。職員が紫色のものを身につけ、相談会や啓発のチラシやPRメッセージの入ったチョコレートの配布を行う予定です。また、入院している患者さんに向けて、病棟でパープルマンショーを行います。さらに、今年は初の試みとして、院内ホワイエでバイオリンの演奏会を行います。バイオリニストはNCNP病院でてんかんの根治手術を受けた患者さんの娘さんで、ピアノ伴奏を患者さんご本人が演奏されます。

NCNPパープルデー2026実行委員長
脳神経外科
飯島 圭哉



NCNP病院
各部門
紹介

身体リハビリテーション部



患者さんにあった テーラーメイドのリハビリテーション治療を 実現します。

身体リハビリテーション部は、神経・筋疾患を中心に幅広い疾患に対してリハビリテーション治療を提供しております。運動障害の他に、呼吸機能障害、嚥下機能障害、構音・発声障害、失語症、高次脳機能障害などに対してリハビリテーションを実施しています。また患者さんの社会参加、就学・就労の支援やアドバイスも行っています。当科独自の治療として、痙縮に対する神経ブロックや装具療法、車椅子や補装具の



身体リハビリテーション部長
原 貴敏

作成なども実施しております。また2024年より整形外科と協力しロボットスーツのHAL®を導入し、保険適応されている疾患に対して、歩行の向上を目的としたリハビリテーションを提供しています。当部門では、三次元動作解析、表面筋電図、ウェアラブルデバイス

(加速度計など)を有しており、本邦でも類を見ない歩行評価装置を保有しており、多面的な評価が可能です。ニューロリハビリテーション外来では、麻痺や歩行の障害に対して、これらの機器を用いた多面的な評価から患者さんの個々の状態に応じた治療アプローチを決定していく取り組みを行っております。神経難病の方の悩みに寄り添い、個々のアンメットニーズに対して、リハビリテーション医師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士による多面的な立場からのアプローチにより、患者さん個人にあったテーラーメイドのリハビリテーション治療を提供することを大切にしております。

脳神経内科 60%

- パーキンソン病
- 脊髄小脳変性症 (SCD)
- 多発性硬化症
- 筋強直性ジストロフィー
- 脊髄性筋萎縮症
- 筋萎縮性側索硬化症
- 大脳皮質基底核変性症
- ハンチントン病/有棘赤血球症
- シャルコー・マリー・トゥース病
- 慢性炎症性脱髄性多発神経炎
- 遺伝性周期性四肢麻痺
- ジストニア
- ボンベ病

脳神経外科 3.5%

- 難治性てんかん術後
- 小児難治性てんかん術後
- 片側巨脳症
- パーキンソン病 DBS術前後
- 水頭症 術後

脳神経小児科 25.6%

- 筋ジストロフィー
- 脊髄性筋萎縮症
- 脳性麻痺
- ウルリッヒ病
- てんかん(レノックスガスター、ウェスト症候群)
- ラズムッセン脳症

その他の科 10.7%

- 慢性疲労症候群
- COVID-19感染後・ワクチン後遺症
- 精神疾患における廣用症候群
- COVID-19感染者(精神疾患患者)
- 手指腱移行術後
- アキレス腱延長術など下肢腱移行術後

身体リハビリテーション部 診療・研究概要図

- 呼吸リハビリテーション
- 装具療法
- 車椅子適合
- コミュニケーション支援
- IT機器適合
- 就労・就学支援
- 環境調整
- 発達・機能定期評価
- 関節可動域訓練
- 基本動作訓練
- ADL訓練
- ボトックス療法
- 動作解析・筋電図解析

スタッフ数

常勤医師	3名
レジデント	1名
非常勤医師	1名
理学療法士	29名
作業療法士	17名
言語聴覚士	5名

◇治療業務 13件

- ◇PT協会認定施設
- ◇認定資格者
 - ・3学会呼吸認定 9名
 - ・専門/認定療法士 15名
 - ・PD療養指導士 11名
 - ・臨床実習指導者 28名

◆入院・外来実施割合
外来：6% 入院：94%

・PD目下がり・腰曲がりに対するリハビリテーション
・SCD集中リハビリテーション

・ITB前後評価(整形外科)・ロボットスーツHAL®

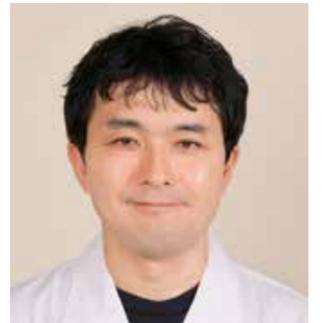


NCNP病院
各部門
紹介

精神リハビリテーション部



デイケア&外来作業療法で、リカバリーへの 第一歩を支援します。 当院以外に通院中の患者さんも利用できます。



精神リハビリテーション部長
吉村 直記

当院の精神リハビリテーション部は主に2つの部門があります。まず、外来作業療法部門は、入院中の病棟での作業療法と、外来において精神科の各領域に関連する半日のプログラムを開催しています。大きく分けて「移行ショートケア」「専門ショートケア」という2つのプログラムがあります。「移行」は、デイケアや地域への「移行」を指し、次のステップへ移ることを目指すプログラムで、「個別」「からだケア」「こころケア」の3つあります。「個別」は創作や癒しなど様々な活動を用意し、ほっとできる場を提供しています。「からだケア」は、簡単な運動やリラクゼーション、健康に関するレクチャーを通して心身の調子を整えます。「こころケア」は、認知行動療法センターの監修のもと、認知行動療法やマインドフルネス、セルフコンパッション等こころをケアする方法と体験ワークを通して自分をいたわる方法を学びます。また、各種疾患に特化した、「専門ショートプログラム」を提供しています。薬物依存などの依存症、睡眠障害、てんかん、MCI(軽度認知機能障害)の患者さんを対象とし、各専門疾病センターの監修、協力のもと開発したプログラムを提供しています。

もう一つの部門はデイケアです。デイケアでは月曜日から金曜日まで午前、午後のプログラムが毎日開催されています。65歳までの精神科通院中の患者さんと、認知症の患者さんを除いたすべての精神疾患を対象とし、2~3年以内に次のステップ(就職、就労移行支援、就労継続支援、その他のデイケア、地域活動支援センターなど)に移行することを目指す通過型のデイケアです。研究所、各専門疾病センターの専門性を生かした、様々なプログラムを用意しています。アンガー

マネージメント、ストレスケア、メタ認知などの心理教育的プログラム、WRAPなどのセルフヘルプツール、ヨガ、ピラティスなどのエクササイズ、e-sportsなどのレクリエーション、手芸部& SOUZOU(創造)、園芸などのプログラムがあり、季節に合わせたイベントも行っています。また、特定のプログラムに参加しなくても、毎時間、患者さんが自由に過ごせるプログラムもあり、体調に合わせた過ごし方ができます。リカバリーへの第一歩として、参加のハードルを低くし、多くの患者さんに柔軟に利用していただくよう工夫されたデイケアになっています。

両部門とも外部の医療機関に通院中の患者さんも利用できます。精神リハビリテーション部外来初診へご紹介ください。 入口を飾る患者さんの共同制作



睡眠カアッブ

睡眠の仕組みなど
良い睡眠のための工夫を
みんなで学びます

てんかん学習

てんかんについての知識や
向き合い方、対処法を、
グループで学びます

REAL生活

依存の問題に向き合いながら、
仲間と一緒に希望の生活へ
近づけるための方法を学びます

個別プログラム

創作や癒しなど様々な活動を用意し
ほっとできる場を提供しています。
ストレスや将来の不安などにも
作業療法士との面談で対応します。

からだケア

簡単な運動やリラクゼーション
健康に関するレクチャーを通して
心身の調子を整えます。
外出のきっかけにも...

こころケア

認知行動療法やマインドフルネスなど
こころをケアする色々な方法を
やさしく解説します。
自分をいたわってあげませんか?

当院の外来作業療法プログラムの例

NCNP
病院
診療科紹介

整形外科



令和8年4月から地域住民や 当院通院患者さん、その家族 向けに高性能な骨塩定量装置 を用いた骨ドックを開始します。

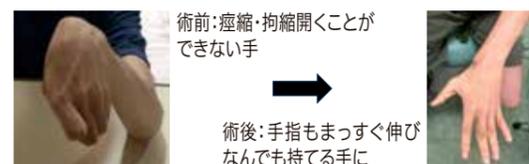
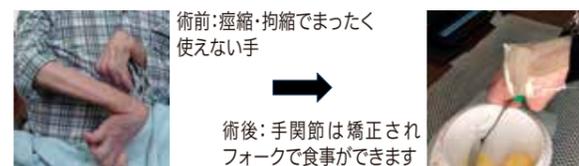
日頃より地域の先生方には多くのご協力をいただき、心より感謝申し上げます。当院整形外科(以下当科)は、患者様の笑顔を大切に、安心と信頼を届けることを目指して主に常勤医2名で診療を行っています。地域のかかりつけ医として幅広く骨折、関節痛、腰痛、スポーツ外傷などに対応したプライマリケアを提供します。

令和8年4月からは地域住民や当院通院患者さん、そのご家族向けに当院の高性能な骨塩定量装置を用いた骨ドックの開始を予定しております。骨密度、体組成、骨質などを評価し、骨粗鬆症予防・治療についてのアドバイスを行います。

また国立高度専門医療研究センターとして次のような専門性の高い整形外科診療も提供しています。

●麻痺・拘縮・痙縮手・足の機能再建

神経難病や向精神薬の影響で生じる拘縮・痙縮・麻痺は、痛みや使用困難を生じ放置されればQOLを低下させます。面前の患者さんのその手、その足の拘縮・痙縮・麻痺は治療できることをご存じでしょうか?機能再建手術・ITB療法・ボツリヌス毒素療法・リハビリテーション・装具などあらゆる手段を包括的に駆使してADLの維持拡大、生命予後の延伸に挑みます。



整形外科医長
原 友紀



整形外科医長
松井 彩乃

●バクロフェン持続髄腔内投与療法 (Intrathecal Baclofen Therapy: ITB)

広範な痙縮に対してバクロフェン(筋弛緩薬)を髄腔内に投与するためのポンプ埋込術を行い、投与量を調整しながら疼痛の緩和や歩行の改善、ADL拡大を目指します。

●脊髄刺激療法 (Spinal Cord Stimulation: SCS)

投薬やブロック治療に奏功しない慢性難治性運動器疼痛(慢性腰痛症、脊椎手術後症候群、パーキンソン病、神経損傷後の疼痛等)に有効です。

●ロボットスーツHAL (Hybrid Assistive Limb) を 用いた歩行運動学習

保険適応10疾患(脊髄性筋萎縮症、球脊髄性筋萎縮症、筋萎縮性側索硬化症、シャルコー・マリー・トゥース病、遠位型ミオパチー、封入体筋炎、先天性ミオパチー、筋ジストロフィー、遺伝性痙性対麻痺・HTLV-1関連脊髄症)に実施しています。



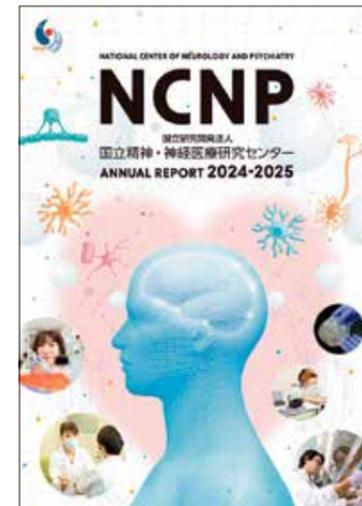
ロボットスーツHAL

当科ではリハビリテーション科をはじめとする他の診療科と連携し、包括的な体制で患者様の生活の質(QOL)向上を目指しています。地域の先生方との連携を重視し、紹介患者さんに迅速かつ適切な対応を行うことを心がけています。

予約についてはホームページをご覧ください。地域連携室まで直接ご連絡ください。

Annual Report 2024-2025を発刊しました。

広報室
川嶋 哲子



NCNPセンター年報『NCNP ANNUAL REPORT 2024-2025』ができました。病院・研究所で取り組んでいる医療・研究の最前線や、当センターで行っている幅広い活動について掲載しています。ぜひご一読ください。ホームページから電子ブックまたはPDF版をダウンロードしてご覧頂けます。



NCNP
ウェブサイト
広報誌ページ



NCNP 広報誌 検索

巻頭特集◆「てんかん」

- 座談会「てんかんとともに生きる」ゲスト・豊ノ島(元関取)
- てんかん医療の最先端/根治・緩和を目指す外科手術の進展
- 研究/手術脳検体を用いて、てんかんの原因を突き止める など



今号のトピックス

- 研究と臨床のクロストークが生んだ免疫疾患治療の進展と実践
- 脳科学研究を支え未来を拓くブレインバンク
- 多職種でリカバリーに取り組む精神リハビリテーション

シナプスを選んで除去するマイクログリアの働きを解明/多発性硬化症(MS)を悪化させる「腸内の異型細菌株」を発見/脳形成の研究により小頭症の新たな病態メカニズムを解明/尿からはじまる未来医療 疾患モデル幹細胞で難病克服に挑む/デジタル遺伝学によるサルコイドーシス病因遺伝子の発見/長引く悲嘆(グリーフ)の生理学的な理解を目指して/スクリーンタイムやゲーム時間と神経発達症の関連を解明する/薬物政策の科学的根拠のために「危険ドラッグ」を解析する

患者さん優先 無料シャトルバス のりばのご案内



発着所
→

西武新宿線・拝島線
多摩湖線
萩山駅
南口・ロータリー前

国立精神・神経医療研究
センター病院
NCNP病院
ロータリー前

JR武蔵野線
新小平駅
けやき歯科クリニック
付近

詳細はこちらから
ご確認ください

